

浜松市立図書館評価（令和5年度）案

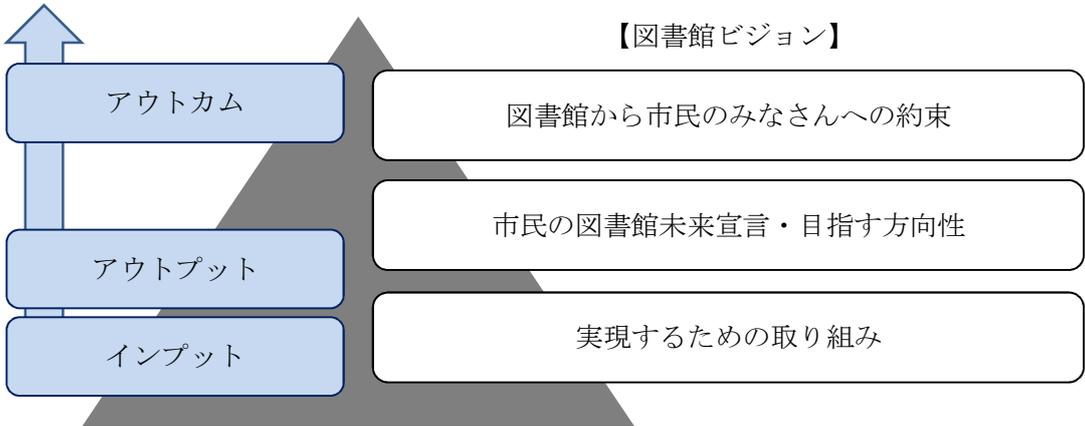
この評価は、平成30年10月に策定した「浜松市図書館ビジョン」に掲げている「図書館から市民のみなさんへの約束」の実現のために行うものです。

【図書館から市民のみなさんへの約束】

- あなたと『困った』を解決します。
- あなたと『うれしい』を育てます。
- あなたと『楽しい』を見つけます。

「図書館から市民のみなさんへの約束」実現のために、「市民の図書館未来宣言・目指す方向性」に沿って個別の事務事業を実施します。

事業を積み重ねることにより「図書館から市民のみなさんへの約束」を常に市民のみなさんが享受するとともに、図書館に対する満足度が向上することを目指します。



市民の図書館未来宣言評価シート（令和5年度）

市民の図書館未来宣言	【いかす】	外部評価 【 〇 】	自己評価 【B】	平均評価点 【 〇 】
		平均評価点【 〇 】	平均評価点【3.50】	

＜評価指標＞

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 図書館HPアクセス件数 (件)	1,506,617	1,396,174	92.67%	4	3.50
2 市民1人当たりの貸出冊・点数 (冊・点)	5.79	5.33	92.06%	4	
3 はままつ電子図書館の貸出冊・点数 (冊・点)	—	11,519	—	—	
4 外国語資料の貸出冊・点数 (冊・点)	23,736	19,327	81.42%	3	
5 障がい者向け資料の延べ利用者数 (人)	20,145	17,840	88.56%	3	
6 利用に関するアンケート調査における満足度「館内の居心地、座席数等に満足していますか？」 (点)	—	4.15	—	—	

＜目指す方向性・実践できた取組＞

<p>1 ICT(情報通信技術)を活用した図書館サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを利用した広報 <ul style="list-style-type: none"> ⇒X(旧Twitter)発信回数 中央162回、全館 合計4,243回 Instagram発信回数 舞阪、雄踏、春野 合計 243回 ・ 講演会・講座などのICTを利用した配信 <ul style="list-style-type: none"> ⇒郷土研究講座2回、学校図書館補助員研修会・連絡会、読書推進講演会 デジタルアーカイブ記念講演会3回 ・ 講座等の申し込みや受講へのICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> ⇒WEBでの申し込み：デジタルアーカイブ記念講演会3回、郷土研究講座3回など <p>2 貸出、返却サービスの利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有料宅配サービス活用による来館が困難な人への資料貸出の継続 <ul style="list-style-type: none"> ⇒有料宅配サービス5件、貸出冊数23冊 <p>3 多文化サービスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子図書等を利用した多言語資料や日本語資料の充実と環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒浜松電子図書7,942点(令和5年度2,740点増) ⇒多文化共生コンテンツ1,708件(はままつ電子図書資料の21.5%) <p>4 多様なニーズに対応した環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児連れの家族が来館しやすい時間帯の設定、周知、定着 <ul style="list-style-type: none"> ⇒設定館が1館増(舞阪) 中央/第1・3火、可新・はまゆう・三ヶ日/第1・3木、流通元町/第2・3・4水、舞阪/第3火、引佐/第2木

＜利用に関するアンケート調査における主な意見＞

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の絵本をたくさん借りて読んであげられる。涼しい場所で静かに過ごせてリフレッシュできる。(舞阪) ・ インターネットで本を探しやすい。内容も書かれているので参考になります。新聞や雑誌、借りれない本なども図書館で見れて楽しいです。(城北) ・ 平日フルタイムで仕事の為、返却ポストがあると延滞防止になり助かります。(南) ・ どこでも利用(貸出・返却・相互貸借可)できるのが便利です。ネットによる事前検索・貸出予約はとても便利です。(城北)

＜自己評価＞

実績・成果に関する説明と考察
<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土の歴史に関する講座については受講者の大多数がシニア層だが、全体の8割程度がWEBフォームからの申込みであった。多くの世代でICT利用が浸透してきている。 ・ 講演会、講座などにおけるICTの活用については、「学校図書館補助員連絡会」をZoom参加者を会場参加者と繋ぎグループディスカッションを行った。Zoom参加者(遠隔地学校補助員)と、会場参加者(アドバイザー・補助員)がリアルタイムで情報交換を行うことができ、参加が困難な学校に対し、参考となる事例や意見に触れる機会を提供できた。 ・ 資料の有料宅配による貸出は令和4年度の利用(4件、20冊)とほぼ変わらない状況だった。遠隔地在住の利用者や高齢者など、来館が困難な市民を対象に引き続き対応していきたい。 ・ 電子図書の多文化共生コンテンツは、令和4年度末時点の1,406点から302点増加し、1,708点となった。そのうちの外国語の本も217点増加し、11ヶ国語1,251点となった。(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ベトナム語、スウェーデン語、フィリピン語)

今後に向けた課題

- ・「学校図書館補助員連絡会」のオンライン参加が30人あったが、通信機器の扱いについて習熟度にバラつきがあり、トラブルが複数発生した。参加希望者に対し、オンライン参加方法について丁寧な情報の周知に努める。
- ・電子図書の外国語の本1,251点中、英語876点、他の言語375点と英語以外の言語の資料が少ない。今後も英語以外の入手が難しい資料の充実に努める。
- ・引き続きICTを活用した講座及び講演会の運営を行っていくが、WEB環境に不慣れな層への対応も重要である。今後も地区館をサテライト会場として設置するなどして、あらゆる層が参加しやすい環境づくりに努める。

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

図書館協議会による意見、課題

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和5年度）

市民の図書館未来宣言	【はぐくむ】	外部評価 【】	自己評価 【A】	平均評価点 【】
		平均評価点【】	平均評価点【4.33】	

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 18歳以下の利用者カード有効登録率	(%)	37.54%	35.80%	95.36%	4
2 学校図書館への資料貸出冊(点)数	(冊・点)	19,300	18,252	94.57%	4
3 ボランティア(読み聞かせボランティア)受入人数	(人)	176	186	105.68%	5
4 利用に関するアンケート調査における満足度 「子供向けのサービス(おはなし会、ブックスタート等)」	(点)	—	4.05	—	—
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「講演会、講座、企画・テーマ展示等に満足していますか？」	(点)	—	3.80	—	—

《目指す方向性・実践できた取組》

1	子供の読書環境の充実 ～『子供読書活動推進計画』の促進～ ・ 学校図書館運営の支援(補助員研修会や連絡会の開催) ⇒ 補助員研修会: 2回、参加者 93人 補助員連絡会: 3回、参加者 105人
2	子育て支援サービスの充実 ・ 乳幼児連れの家族が来館しやすい時間帯の設定 「あかちゃんタイム」中央・可新・はまゆう ⇒ 中央第1・3火曜10:00～12:00、可新第1・3木曜11:00～14:00、はまゆう第1・3木曜10:00～12:00 「すくすくタイム」流通元町・引佐・三ヶ日 ⇒ 流通元町第2・3・4金曜10:45～12:00、引佐第1木曜10:00～12:00、三ヶ日第1・3木曜10:00～12:00 「のびのびタイム」舞阪 ⇒ 舞阪第3火曜ブックスタート終了～12:00
3	ライフステージ・ライフスタイルに応じた資料・情報提供と講座等の開催 ・ シニア層を対象とした「いきいき健康講座」の開催 ⇒ いきいき健康講座: 9回、参加者数87人 ・ 中学生、高校生世代を対象とした「情報活用講座」の開催 ⇒ 情報活用講座: 1回、参加者 10人
4	多様な資料の収集・提供 ・ はままつ電子図書における多様な資料の収集・提供 ⇒ 7,942点(令和5年度2,740点増)、貸出数11,519件(4,887件増)、閲覧数34,811件(15,037件増)

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業家カフェのセミナーは良かった。是非、色々もって行ってほしい。(城北) ・ 手作り講座に出席しています。楽しく参加しています。(三ヶ日) ・ ブックスタートや読み聞かせなど、子どもが喜んでいて良かった。(はまゆう) ・ 教員です。随分前からお世話になっています。10年くらい前、特別支援学級の子供たちに毎日のように絵本の読み聞かせをしていて、とても助かりました。(都田)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会は例年と異なる時期の開催だったが、「特別な支援を要する子ども達に対する働きかけ」のテーマで講話を行い、一人一人の子供の状態に合わせた学校図書館の対応について情報を提供した。 ・ 乳幼児連れの保護者が気兼ねなく来館・利用できる時間帯については、各館で定期的に開催するおはなし会やブックスタートに併せて設定している。来館する保護者に対し、イベント参加前後も図書館に滞在しやすい環境作りに繋がる取組みとなっている。 ・ シニア層を対象とした「いきいき健康講座」は、今年度から高齢者福祉課と連携した自主事業とした。開催数が令和4年度より2回減った(11回→9回)が、参加数は同数だった。各開催館が自主的にテーマ設定とPRを行うことで、来館者に対して柔軟性のある情報提供ができた。また、中学生、高校生世代を対象とした「情報活用講座」は、開催直前まで参加者が集まらなかった点について、見直しが必要と考える。 ・ 電子図書については、外国語資料217点及び各分野の日本語資料2,523点を追加収集し、計7,942点の資料を利用者に提供した。貸出回数には11,519回で月平均約960回となり、昨年度の約552回に比べて増加している。資料数の増加により利用も促進されるものと考えている。

今後に向けた課題

- ・ライフステージに応じた情報提供の一助として、高齢者層を対象とした多様な講座等の開催を行う。
- ・中学生、高校生世代を対象とした「情報活用講座」の開催時期や効果的なPR方法の検討を行う。
- ・今後は全蔵書数約263万点の0.3%程度である電子図書の資料数の増加に努める必要がある。(令和元年度から電子図書導入)

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

図書館協議会による意見、課題

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和5年度）

市民の図書館未来宣言	【つながる】	外部評価 【】	自己評価 【B】	平均評価点 【】
		平均評価点【】	平均評価点【3.25】	

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 ボランティア受入人数(障がい者サービスボランティアなど) (人)	728	540	74.18%	2	3.25
2 業務支援カードの利用による貸出冊(点)数 (冊・点)	581	322	55.42%	1	
3 デジタル化した地域資料のアクセス件数 (件)	4,321,010	5,214,978	120.69%	5	
4 自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数 (件)	190	295	155.26%	5	
5 利用に関するアンケート調査における満足度「図書館職員による必要な資料や情報を見つけるお手伝い」 (点)	—	4.45	—	—	—

《目指す方向性・実践できた取組》

<ol style="list-style-type: none"> 1 地域コミュニティにおける市民との協働、連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ おでかけ講座(地域への講師派遣) <ul style="list-style-type: none"> ⇒実施回数9回、参加者 441人 2 課題解決支援サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べ方案内、レファレンス事例集やパスファインダーの整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒パスファインダーの更新、国立国会図書館運用のレファレンス協同データベースへの事例登録、全館から検索可能な業務端末への事例登録を実施 3 政策立案支援サービスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会図書室との連携による、議員活動に役立つ資料の調査、提供 <ul style="list-style-type: none"> ⇒図書注文5回(計74冊)、テーマ展示の協力2回 4 地域・歴史資料の収集、保存、活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所蔵資料やデジタルアーカイブを活用した講座・講演会等行事の開催 <ul style="list-style-type: none"> ⇒講演会3回、参加者378人(WEB含む)、講座延べ3回、参加者96人(WEB含む) 5 自治体、企業、各種団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内他課および外部団体との連携企画事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ふじのくに地球環境史ミュージアム、静岡県富士山世界遺産センター、静岡県グリーンバンク等と連携した企画の実施 計295件

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室にはない本をたくさん読めて嬉しかったし、調べ学習コンクールで郷土資料がたくさんあって解決したことがあった。(はまゆう) ・ ボランティアで浜松の軽便鉄道のお話を小学生にすることになった時、資料を貸していただき、とても参考になりました。(城北) ・ 母の米寿の時に、昔の新聞記事(昭和10年の誕生日)、マイクロフィルム等を利用して、思い出に残る出来事も調べ、コピーしてアルバムのように作成してプレゼントすることができた。(天竜)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会図書室から資料の収集依頼を5回受け74冊の収集に協力し、市議会議員の活動に協力した。また、議会図書室が提示するテーマに沿った図書館資料を集め、それぞれ2ヶ月程度の期間の展示を2回行い、議会図書室利用者が閲覧できるようにした。 ・ デジタルアーカイブのアクセス件数上昇については、アーカイブを活用した講演会の開催や、大河ドラマ「どうする家康」の影響が大きい。また、家康関連アーカイブ資料のマスメディアへの提供や、大河ドラマの放映内容に沿ったアーカイブ資料をX(旧Twitter)で、ドラマ終了直後に投稿するなど多様な媒体でPRすることができた。 ・ 庁内他課および外部団体との連携企画事業は、295件で令和4年度から50件増加し、新たに連携した団体も複数あり、多様な事業展開に繋がった。

今後に向けた課題

- ・「おでかけ講座」に派遣する職員の育成に努める。
- ・R5年度は議会図書室テーマ展示は2回実施した。R6年度は3回実施する予定。今後も議会図書室用資料の追加購入やテーマ展示への継続的な協力を行っていくため、議会図書室側担当者との連携強化に努める。
- ・蓄積された多様なレファレンス事例を、業務端末やレファレンス協同サービスへ積極的に登録し、情報発信の強化に努める。

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

図書館協議会による意見、課題

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和5年度）

市民の図書館未来宣言 【つくる】	外部評価 平均評価点【】	自己評価 【A】 平均評価点【4.50】	平均 評価点	【】
--------------------------------	-----------------	--------------------------------	-----------	----

≪評価指標≫

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均 評価点
1 施設・設備の適切な整備・保全	(一)	—	予定どおり	4	4.50
2 職員1人当たりの研修参加回数	(回)	3.71	4.84	130.46%	
3 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等でのパブリシティ件数	(件)	59	60	101.69%	
4 利用者カード有効登録率	(%)	19.34%	18.02%	93.17%	
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「お近くの地域の図書館に親しみを感じますか？」	(点)	—	4.43	—	—

≪目指す方向性・実践できた取組≫

- 1 地域の実情に応じた図書館運営
 - ・ 図書館施設の改修、修繕に向けた関係課との調整
⇒改修計画を進めるための関係課との連絡、調整を実施
- 2 図書館マネジメントの充実
 - ・ サービス種別ごとの連絡会、研修会の実施（児童サービス、医療・健康情報サービスなど）
⇒児童サービス：連絡会2回、おはなし会担当者のための研修1回、 医療・健康情報サービス：連絡会1回
障がい者サービス：連絡会3回実施
- 3 専門的職員の育成、確保
 - ・ 司書としての専門性向上を図るための外部研修への職員派遣
⇒直営館：47件、参加延べ191人、指定管理館：343件 参加延べ1,214人
- 4 図書館プロモーションの充実
 - ・ SNSを活用したサービス情報の発信
⇒X(旧Twitter)で、ブックスタートや各種講演会、講座の開催および実施状況を発信

≪利用に関するアンケート調査における主な意見≫

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 改装されてからさらにきれいで、ゆとりある空間になった。心地良い。(中央) ・ 分からない所を資料を使って調べることができた。それでも分からない所はネットで「調べもの相談」をして、丁寧な解答をもらった。(積志) ・ 市の郷土資料をもとにして研究されていることの講演会には聴講させて頂いています。大変興味深く地域の理解が深まります。(南陽)

≪自己評価≫

実績・成果に関する説明と考察
<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松市立図書館施設整備・保全計画について、関係各課と調整を図った。 ・ 地区館からの要望を受けて実施した「おはなし会担当者のための研修」は、担当者の拡充以外に、児童サービスの基本的な方向性を伝える場として有効であった。 ・ 職員や図書館業務アドバイザーによる専門性を活かした、郷土資料の研修を実施した。また、レファレンス事例の共有など、図書館内でもスキルアップにつながる取組みを行った。

今後に向けた課題

- ・ 令和7年度の西図書館移転に向け関係各課及び関連業者との連携に努める。
- ・ 浜松市立図書館施設整備・保全計画に基づき、地区図書館大規模改修工事について、関係各課との調整を行う。
- ・ 外部組織などと連携したアウトリーチ活動や幅広いサービスの展開に取り組む。
- ・ SNSを活用しタイムリーで親しみを持てるプロモーション活動を継続的に展開する。

＜外部評価＞

図書館協議会による評価の内容

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

図書館協議会による意見、課題

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

図書館から市民のみなさんへの約束

- あなたと『困った』を解決します。
- あなたと『うれしい』を育てます。
- あなたと『楽しい』を見つけます。

浜松市立図書館評価(令和5年度)

1 利用に関するアンケート調査における満足度「図書館の総合評価としてはいかがですか」

(満足=5、やや満足=4、どちらでもない=3、やや不満=2、不満=1とし、平均点を算出)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
4.20	4.31	4.34

(点/5点満点)

令和5年度調査

調査期間：令和5年8月29日(火)～9月18日(月)

調査対象：図書館来館者(自動車文庫利用者を含む)

調査方法：図書館窓口で調査票を配布し、回収箱により回収

回答者数：1,915人

2 利用に関するアンケート調査における自由記述より「図書館を利用して得られた成果」

《主な意見(図書館を利用して「できたこと」「解決したこと」「よかったこと」など)》

- ・息子の自由研究で詳しい資料を紹介してもらい、完成することができた。(中央)
- ・大きな活字シリーズがあり、改めて名作や文学を読む意欲が湧きました。(城北)
- ・経済誌があるので資料として活用できて良かった。(駅前)
- ・購入に悩む一時的に使用する本を利用できた。流行りのある旅行雑誌の貸出しはとて有難い。(西)
- ・ネット等では自分の好きなものだけを注文になりがちのため、図書館でふと目にした本や写真集を手にとって、思わぬ良さに気づくことができた。(北)
- ・歩行に自信がなくなった事で80才になっても近くの図書館で本を借りる事が出来て生きがいを感ずます。(南)
- ・おすすめの本・企画展示があるので、特に読みたい本がなくても面白い本を借りることができる。(東)
- ・子ども読書感想文のコーナーが宿題に役立ちました。こどもと一緒に本を読む習慣ができたことが良かったです。(積志)
- ・調べ学習の参考や好きな本や作家を見つけることができた。(流通元町)
- ・読みたいと思っていた本(古くなり売っていない)に出会えました。(舞阪)
- ・面白い本、自分の知らなかった本を知れた。子どもの宿題で多くの本を参考にできた。(雄踏)
- ・講座室を使わせていただくことによって家より集中して勉強に取り組むことができ良かった。(はまゆう)
- ・様々なジャンルの本を手軽に借りることができるので、子供の興味の幅も広がって良いと思います。(南陽)
- ・子どもが本好きになった。工作教室に参加してから、次回も参加したいと楽しみにしている。(可新)
- ・過去の新聞記事を追うことができた。2回も利用させていただいた。(都田)
- ・家にできたツバメの巣のひなが巣立つまでの記録を残し、孫に伝えるべく図書館で情報をもらうため訪れた。子ども向けの本を数冊提供してくれ、分かりやすく利用し、孫に届けることができた。(細江)
- ・本を読む習慣ができた。絶版になっている等書店にない本も読めることがあり嬉しい。(引佐)
- ・展示コーナーを見て自分の興味のあること以外の学習ができる。(三ヶ日)
- ・テーマ展示をいつも楽しみにしています。自分があまり興味がない分野の本に出会うことができますし、ディスプレイの仕方も工夫されているので、見ているだけで楽しいです。(浜北)
- ・甲状腺の病気について、具体的でわかりやすい本があり、とても参考になりありがたかった。(天竜)
- ・他のところで紹介された本をすぐ借りて、情報が具体的になった。(春野)
- ・週2回位の間隔で新聞を読むことができ、嬉しい。(水窪)
- ・野菜作りの本を色々読んで、ノウハウができ、自信作も出来るようになった。(佐久間)
- ・週2回位の間隔で新聞を読むことができ、嬉しい。(水窪)
- ・小学生になった今はページ数文字数の多い本も自分から興味を示して手にします。(WEB)

《参考:「図書館から市民のみなさんへの約束」実現に向けたインプット》

1 経費に関すること		
(1) 図書館費	R5決算	1,670,539 千円
市民1人当たりの図書館費		2,113.05 円/人
貸出冊数1冊・点当たりの図書館費		372.48 円/冊・点
(2) 図書購入費(資料収集事業)		150,071 千円
市民1人当たりの図書購入費		189.82 円/人
2 資料収集に関すること		
(1) 資料数		2,638,391 冊・点
市民1人当たりの資料数		3.35 冊・点/人
一般ほか資料数		1,652,913 冊・点
児童資料数		612,374 冊・点
はままつ電子図書のタイトル数		7,942 冊・点
外国語資料数		18,500 冊・点
郷土資料数		183,952 冊・点
視覚障がい者用資料数		15,970 冊・点
AV資料数		51,128 冊・点
3 ソフト事業に関すること		
(1) 一般向け講演会・講座など回数		232 回
(2) 子供・親子向け講演会・講座など回数		306 回
(3) 企画展事業数		194 本
(4) 学校支援に関する講演・講座・コンクールなど回数		50 回
(5) ブックスタート実施回数		549 回
(6) おはなし会実施回数		806 回
(7) ボランティア養成講座回数		91 回
4 運営に関すること		
(1) 職員研修の実施及び派遣件数		47 件
(2) 図書館利用促進活動の件数		30 回